

第 45 回技法研修会講師からひと言

この度、日本臨床催眠学会第 45 回技法研修会で久しぶりに初級担当講師を担当することになりました本学会理事長、鹿児島大学名誉教授、松本心理学研究所長の松本繁です。どうかよろしくお願い致します。

これまで、四国地域では本学会会員が少ないこともあって、四国の地で催眠技法研修会が開催されるのは初めてのことです。四国地域で精神医療、身体科医療、歯科診療、心理臨床活動に携わっておられる先生方に向けて正しく催眠療法を理解して頂き、臨床実践で活用して頂くことを目的に技法研修会を行います。

本研修会では、臨床催眠研修過程の初級規定に沿って、催眠の定義・歴史・理論、及び、催眠現象とその治療的応用について種々の誘導法を示しながらその治療的原則について講義致します。さらに催眠療法の治療計画と技法の選択について臨床実践に沿った形での講義内容も加えたいと考えています。

催眠療法は心理療法。精神療法の「打ち出の小槌」と言われるように、催眠による特異な現象の臨床研究を通して多くの心理療法が開発されてきました。今回の技法研修会では、そうした催眠療法の歴史を振り返りながら、催眠の定義の変遷について話したうえで効果的な催眠技法の使い方などに触れていきたいと考えています。

研修内容としては、講師による催眠誘導の実際を見て頂くだけでなく参加者相互での実習も行っていく予定です。相互実習には経験豊富なファシリテーターが付いて指導を致しますので、こうした実習を通して、催眠への偏見や誤解、または、過信などの弊害は必ず取り除かれることと思います。

臨床に携わられておられる先生方の積極的な参加をお待ちしています。